

部・同好会の歴史

放送文化部

放送文化部ができたころ、よく他の高校の部員とあるテーマについて話し合ったり、LHRで放送部の作品を流したりするなどよく活躍しました。その中で全国高校放送コンテストで「青空と太陽の水島に」は、全国2等になりました。

現在、部で活動している内容は毎日のお昼の放送、体育大会、水倉定期戦での開閉会式の放送、文化祭、創作展、放送コンテストのラジオ番組製作部門への出品等です。文化祭ではディスクジョッキー、体育館での催しの司会や放送コンテストの作品を流しました。放送コンテストは春と秋の

2回あります。コンテストに作品を出す時期が来ると、テーマを決め内容を検討し、構成、編集するまで大変な努力が必要ですが、作品ができたときは喜びと充実感でいっぱいです。又この作品が入賞すると喜びも一段と増します。

数年前ラジオ番組制作部門で「瀬戸大橋」を制作しました。この作品を作るため春休みに橋げたとなる島に取材に行ったり、倉敷市内でインタビューをしたりして完成するまで大変でした。残念ながら入賞はできませんでしたが、色々の地域での瀬戸大橋にかける期待と不安がよくわかり、よい勉強になりました。

又お昼の放送では事前に音楽、話をテープに取って全校に放送を流しています。

現在部員は少人数ですが、よくまとまって活動をしています。

以上が部の成立と現況です。最後に20年を振り返る意味で今日までに受賞した作品を書きます。

奨励 昭和41年 「水島の公害」

奨励 昭和42年 「工業高校」

優秀 昭和46年 「青空と太陽の水島に」

全国高校放送コンテスト 全国2等

佳作 昭和48年 「柳並木の鏡」

佳作 昭和49年 「ある船出」

2位 昭和53年 「社会に向って」

3位 " 「隠れた存在」

2位 昭和55年 「われら高校生」

2位 " 「おれの青春」

1位 昭和56年 「世情」

2位 昭和57年 「主人公」

(顧問 安原昌記)